九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[023] 語文研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10246

出版情報：語文研究. 23, 1967-02-28. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

編輯後記

空海のあわいを一面の赤霞が染めた今夕の玄海は美しかった。博多浜風ももうオーバーを通さなくなった。不断に流れている研究室の営みにも、卒業生を送り出した跡の小休止の如きあの空白を感ずる時も間近くなった。その頃には、この雑誌が会員のお手許にとどくことであろう。

今回は、徳満、後藤、境、山田の四氏からそれぞれ専門分野の論文をいただいた。遇然であるが九州に関する論文が二つ集った。文科科学の各方面で、九州の資料に九州の学者が、率先して手をつけるべきだとの声が、坊間から起っていると聞く。国語学国文学の分野にも、埋蔵されたままの新資料がまだ多いと想像する。在九州の会員諸氏が絶えずその方面に関心をもち、調査され、その結果で、この紙面を飾られることを期待する。

今回は、諸論文は早く寄せられたが、資金のやりくりで、出刊が遅延した。出版体制は整っているのである。ただ、会員の皆さんが、この一冊を受取った時、直に会費を送ってさえ下されば、この雑誌はいくらでも出せるのである。ご協力をお願いする。

生々陽春の候、諸賢のご[illegible]を祈る。

（担当　中村・春日）